

「を＋自動詞」という表現形式に関する考察
—「を」格スキーマの視点からのアプローチ

目次

第一章	序論.....	1
1.1	本論の研究動機と目的.....	1
1.2	研究の範囲.....	2
1.3	研究のアプローチ.....	3
1.4	本論の構成.....	4
第二章	従来の研究.....	6
2.1	はじめに.....	6
2.2	従来における「を＋自動詞」という表現形式に関する研究.....	6
2.2.1	研究対象について.....	6
2.2.2	研究の手係りについて.....	8
2.3	まとめ.....	11
第三章	本論の研究理論.....	12
3.1	はじめに.....	12
3.2	認知言語学の視点からのアプローチ.....	12
3.2.1	楠本（2002）の捉え方.....	16
3.2.2	竹林（2007）の捉え方.....	17
3.3	まとめ.....	20
第四章	研究資料の収集及び動詞の分類.....	21
4.1	研究資料の収集.....	21
4.1.1	資料の収集方法.....	21
4.1.2	抽出された資料の一覧.....	21
4.2	動詞の分類.....	30
4.2.1	典型的な他動詞.....	42
4.2.2	非典型的な他動詞.....	43
4.2.3	極めて曖昧な動詞.....	45
4.2.4	非典型的な自動詞.....	47

4.2.5	典型的な自動詞.....	49
4.2.6	その他.....	50
4.3	まとめ.....	50
第五章 「を+自動詞」という表現形式の分析.....		52
5.1	非典型的な他動詞.....	53
5.2	非典型的な自動詞.....	64
5.2.1	物理的な移動用法.....	66
5.2.1.1	物理的な非移動用法.....	68
5.2.2	抽象的な移動用法.....	73
5.3	極めて曖昧な動詞.....	76
5.4	その他.....	85
5.5	まとめ.....	89
第六章 むすび.....		91
6.1	本論文のまとめ.....	91
6.2	今後の課題.....	92
参考文献.....		94
付録1.....		96
付録2.....		97



表目次

表 (1) 収集された動詞の自他性の一覧(五十音順)	22
表 (2) 45 の動詞の意味記述及び「を+自動詞」の用例.....	24
表 (3) 非典型的な他動詞の特徴及びその動詞群.....	53
表 (4) 非典型的な自動詞の特徴及びその動詞群.....	65
表 (5) 非典型的な自動詞—物理的な移動 (d-1) の特徴及びその動詞群...	66
表 (6) 非典型的な自動詞—物理的な非移動 (d-1.1) の特徴及びその動詞群	69
表 (7) 非典型的な自動詞—抽象的な移動 (d-2) の特徴及びその動詞群...	73
表 (8) 極めて曖昧な動詞の特徴及びその動詞群.....	77



図目次

図 (1) 自他動詞のカテゴリーの概念.....	13
図 (2) 他動性と自動性.....	15
図 (3) 「を」格文における事態の認知.....	17
図 (4) 「を」のスキーマ構図.....	18
図 (5) 「を」のスキーマ構図：起点をプロフィール.....	18
図 (6) 「を」のスキーマ構図：径路をプロフィール.....	19
図 (7) 「を」のスキーマ構図：動作全部をプロフィール.....	19
図 (8) 線状化された因果関係.....	31
図 (9) 対格動詞、能格動詞、非対格動詞、非能格動詞のスキーマ.....	33
図 (10) 動詞の分類 (A 型～E 型)	37
図 (11) 楠本 (2002) と竹林 (2007) に適用する動詞の類型.....	41

